

## 研究課題名「パーキンソン病における痛覚閾値および痛覚関連誘発脳電位の検討」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2012年12月1日～2015年9月8日までに当院で痛覚関連誘発脳電位検査を行った方

### 2. 研究目的・方法

パーキンソン病では運動障害の他に非運動症状といわれる様々な臨床症状があります。冷たい水で洗い物をしていても平気であるとか、骨折に気が付かなかったなど、痛みに関して鈍感になることが経験的に知られています。しかし、そのことはしっかりと証明はされていませんし、その原因もわかっていません。痛み鈍感ということは体に対する危害刺激をうまく感じないことですので、体にとって都合が悪いといえます。この症状の実態を明らかにすることで、その原因の究明、日常生活に対する注意の喚起につながると考えられます。

本研究を実施するにあたって、当院にて痛覚関連誘発脳電位検査を行った患者さんの診療情報を一部用いる予定です。対象となる患者さんは2012年12月1日～2015年9月8日までの方です。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

以下の診療情報を使用します。

ID、発症年齢、初発症状、発症からの期間、嗜好歴(喫煙および飲酒の有無)、合併症、既往歴、家族歴、服用薬剤名、身長・体重、神経所見、Unified Parkinson's disease rating scale (UPDRS)、痛覚関連誘発脳電位検査結果、認知機能テスト {Mini Mental State Examination (MMSE)、Frontal Assessment Battery (FAB)、Japanese version of the Montreal Cognitive Assessment (MoCA-J) など}、Odor Stick Identification Test for the Japanese (OSIT-J)、MIBG心筋シンチグラフィー、頭部MRI、脳血流SPECT、ドパミントランスporterシンチを含む、これまでの診療から得られたすべての情報。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

4 6 6 - 8 5 5 0 名古屋市昭和区鶴舞町 6 5

名古屋大学医学部神経内科 0 5 2 - 7 4 4 - 2 3 9 1

名古屋大学医学部附属病院検査部 中村友彦

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学 祖父江元